

最先端の造園・園芸技術を世界で学び、
日本の造園・園芸界の今後のリーダーを育てる
TRIAD プログラム(日米英景観園芸交換研修プログラム)
2018 年度研修生募集

兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」、兵庫県立淡路景観園芸学校等からなる TRIAD プログラム(日米英景観園芸交換研修プログラム)運営委員会(事務局:兵庫県立淡路夢舞台温室、以下「本委員会」と称す。)は、平成26年4月から、アメリカ合衆国のロングウッドガーデンおよびイギリスのヒドコートマナーガーデンと三カ国の庭園・園芸技術の研修交流を行う TRIAD プログラムを開始しました。

これは、世界の造園・園芸界をリードする三つの庭園・公園エリアが、それぞれが持つ技術力と教育資源を互いに持ち寄り、連携・交流してこれからの各国の造園・園芸界を担う人材を実践的に育成していこうとする挑戦的プログラムです。

ロングウッドガーデンではガーデンデザイン・ディスプレイ・栽培管理に加えサービス・情報管理、経営等の運営管理ノウハウが、英国では今年度からヒドコートマナーガーデンに加え3つのタイプの異なるガーデンで管理技術またナショナル・トラストの管理運営マネジメント、日本では日本庭園・盆栽・華道等そして奇跡の星の植物館での伝統をモダンに継承するガーデンデザイン・ディスプレイ、新緑化技術、淡路景観園芸学校では自然生態の保全技術等、本プログラムは、広い分野の知識・技術を習得することができ、また、現在、日本の公園・植物園が直面している課題解決への大きなヒントを得ることができます。

このようなことから、このプログラムはこれからの日本の造園・園芸界をリードし、世界に日本の造園・園芸を発信する人材育成において、現在の日本における最も実践的かつ効果的なプログラムであると確信しています。

この制度による平成30年度の交換研修生を添付により募集しますので、研修参加を希望される方は必要応募書類を提出することにより応募してください。

TRIAD プログラム運営委員会
委員長 辻本智子

<連絡・お問い合わせ> TRIAD プログラム事務局
〒656-2306 淡路市夢舞台 4
奇跡の星の植物館内 担当:村瀬雅史
TEL 0799-74-1200 Fax 0799-74-1201

TRIAD プログラム募集要項

1. 募集定員 2名(日本研修生)
2. 研修期間 平成30年4月～平成31年4月末まで(約13ヶ月)
3. 研修プログラムの内容 後述の「TRIAD プログラム(日米英景観園芸交換研修プログラム)の概要」を参照のこと
4. 応募条件
 - ①造園・園芸に関する実践的専門教育を受けた者、あるいは造園・園芸に関する豊富な実務経験を有する者で、このプログラムによる成果をわが国の造園・園芸界に活かしていくこと、わが国の造園・園芸の成果を世界に発信していくことに具体的なビジョンと強い熱意のある者
 - ②アメリカ、イギリスにおいて園芸に関する実践的教育を受けるにあたり必要な園芸に関する知識・技術、コミュニケーション能力(英語力を含む)を有する者
 - ③平成29年9月1日時点で、50歳未満の日本国籍を持つ者
5. 応募方法 以下の応募書類を、10月末日までに表紙にあるTRIADプログラム運営委員会事務局に提出することにより行う。
 - ・交換研修プログラム参加申込書(別添)
 - ・英語で記載され、卒業年月日の記載がある最終学歴の成績証明書
 - ・写真1枚(最近3ヵ月以内に撮影したものを参加申込書の所定欄に貼付)
 - ・健康診断書(別添様式による)
 - ・身元保証書(別添様式による)
 - ・英語の能力を証明する書類
6. 研修生決定 派遣される研修生は以下の手順で決定する
 - ①応募書類審査 本委員会が日本の研修生の書類審査後、面接候補者を選定
 - ②面接審査 本委員会が①の通過者に11月中旬頃、実施日を連絡し、面接審査をインターネット上のアプリケーション、「SKYPE」を通して行う。この面接で、候補者を3～4名に絞り、3か国面接を受ける日本からの推薦候補者とする。この面接審査の結果は11月中に面接者に連絡する。
 - ③英語によるインタビュー(インターネット会議システムを利用して、本プログラムを運営する日米英の関係者合同で行う。②の通過者に12月初旬頃、実施日を連絡する)

TRIAD プログラム(日米英景観園芸交換研修プログラム)の概要

本プログラムは、かねてよりさまざまな NPO 活動に積極的支援を行ってきたアメリカ合衆国のフィデリティ財団のスポンサーシップのもと、日米英各国が育んできた造園・園芸技術を相互に交流させ、各国の造園・園芸技術のさらなる深化を担う人材を育成し、その発展に寄与することを目的として、兵庫(淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」および兵庫県立淡路景観園芸学校)、ロングウッドガーデンズ(アメリカ、デュポン財団)、ヒドコート・マナーガーデン(イギリス、ナショナル・トラスト)の三者が相互に研修生を交換する研修プログラムです。

研修期間を基本一年として、日米英各国の研修生が三カ国で4ヶ月(日本人研修生のみ日本での研修期間は5ヶ月となります)ずつ、各国を代表するような庭園・公園等で造園・園芸技術等の指導を受ける実践的な研修プログラムで、それにかかる費用についてもフィデリティ財団の全面的な財政支援が行われるため、教育効果的にも、研修生の経済面でも非常に優れた研修プログラムとなっています。

プログラムの概要は以下のとおりです。

1. 目的

日米英各国が育んできた造園・園芸技術を相互に交流させ、各国の造園・園芸技術のさらなる深化を担う人材を育成し、その発展に寄与する。

2. プログラム運営主体

日本側の運営主体である「日米英景観園芸交換研修プログラム運営委員会」(事務局:兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」)が、アメリカ合衆国のロングウッドガーデンおよびイギリスのヒドコートガーデンと連携して共同で行う。

財政面では、フィデリティ財団が支援を行う。

3. 研修生の定員

2名/各国・年

4. 交換研修生の研修先

- ・日本:淡路夢舞台温室(日本での研修期間中の実務研修はここが中心となります)、兵庫県淡路景観園芸学校 など
- ・アメリカ合衆国:ロングウッドガーデンおよびその関係機関
- ・イギリス:ヒドコート・マナーガーデン、ボドナントガーデン他英国ナショナルトラストが所有する英国屈指の4つの伝統的な庭園

5. 交換研修期間

全体の期間を一年間とし、4ヶ月ずつ上記の研修先での研修を行う。具体的なローテーションの計画は以下のとおり。

	5月～8月	9月～12月	1月～4月
・日本からの研修生	日本(4月開始)	イギリス	アメリカ
・アメリカからの研修生	イギリス	アメリカ	日本
・イギリスからの研修生	アメリカ	日本	イギリス

6. 研修内容

各国の庭園・公園が準備する植物ディスプレイ技術、植物栽培、病虫害防除技術、植物分類、公園・庭園マネジメント等に関する実践的な研修となる。一部、研修生の希望により分野を選択して学習するカリキュラムも含まれる。

研修生は各国で成績評価を受けるとともに、4月下旬、最終的に3か国の関係者が集う場で研究の成果発表(スライドプレゼンテーション、英語)を行い、それらの評価により研修プログラム修了を認定される。

7. 研修生へ支援されるもの

- ・フィデリティ財団からの支援により研修生には、渡航費(日本→アメリカ→イギリス→日本)、研修に必要な被服、道具類、交通費、研修中の基礎的な生活費(約130,000円/月)等が支給される。
- ・海外での研修先の宿舎は各庭園・公園で用意される。(寮費は無料)
- ・日本での研修期間中は、兵庫県立淡路景観園芸学校(兵庫県立大学淡路キャンパス)の寮室が用意される。

8. 研修生が負担するもの

- ・日本人研修生選抜面接試験に関する旅費・宿泊費等
- ・現住所から研修開始場所まで、研修終了地(国内)から自宅までの交通費
- ・日本での研修期間中の兵庫県立大学研修員としての研修料(18,100円/月、平成29年8月時点。研修料は、大学の規程改正等により改定されることがあります。)
- ・日常生活費、個人的な旅費等で、支給される生活費を上回る経費

以上

(参考)

◆ロングウッドガーデン <http://longwoodgardens.org/>

この庭園は、アメリカ、ペンシルバニア州にある世界で有数のディスプレイ庭園。実業家で慈善家のピエール・デュポン氏が、1906年、自然あふれる古い森の樹木が木材用に伐採されるところを保護するために買い取り、世界に誇れる庭園を造り始めた。歴史的に有名な観光地に囲まれたブランディワインバレー地方に位置し、約400haの敷地は、1.8haのコンサーバトリーとイタリアンガーデン、ローズガーデン等20のガーデンで構成されており、四季折々の植物が楽しめるだけでなく、一年を通して、コンサート、様々なパフォーマンス、噴水ショーなどさまざまなイベントが楽しめる。

美しい庭園管理はもちろんのこと、オリジナル植物育種もさかんに行われ、コンサーバトリーのディスプレイ技術、展示植物の仕立て技術は世界一という評価を得ている。

また、教育・研究部門も持ち、教育システムは園芸技術だけでなく、パブリックコミュニケーションや植物情報部門まで多岐にわたっている。



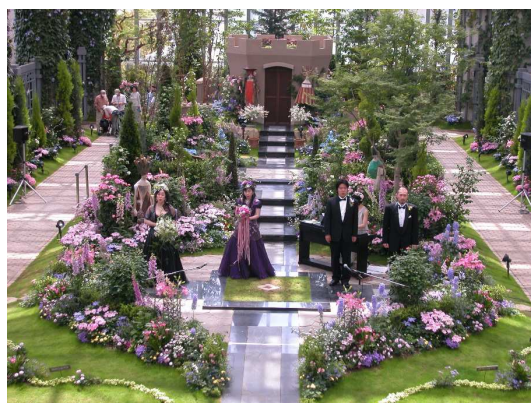
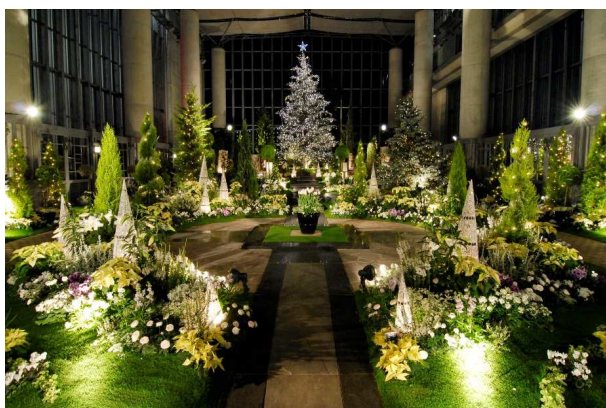
◆ヒドコートマナーガーデン <http://www.nationaltrust.org.uk/hidcote/>

イギリス、コッツワルド地方にあるイングリッシュガーデンの一つ。20世紀初頭の築造で、アメリカ生まれの園芸家によって作られた。25の異なる庭園を生垣で区分しながらつないだ構成をもち、庭は箱型生垣のほか、シデ、イチイ、石壁が使われ、多様な特徴やテーマを有する一連の戸外の「空間」という形態をとっており、コテージガーデンの集大成といわれる。1948年から、自然保護団体ナショナル・トラストによって管理されている。



◆淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」 <http://www.kisekinohoshi.jp/>

広大な土採り跡地の自然を回復するプロジェクトとして誕生した「淡路夢舞台」のシンボル施設である奇跡の星の植物館は、自然の素晴らしさ・美しさを五感で体感すると同時に、21世紀の共生のライフスタイルを提案する感動空間創造実験型植物館として、2000年に誕生した。自然の美しさ・巧妙さを五感で体感する『五感軸』と、花・緑と共生する生活空間、都市の緑化を提案する『共生軸』を大きなテーマとし、珍しい植物を単に展示するのではなく、明確なテーマとメッセージをもった展示を進めている。特に、古来からの日本人の自然を生かした心配りの細やかさ、住まいの美しさ、文化の豊かさを「ガーデンルネサンス」として提唱している。



◆兵庫県立淡路景観園芸学校 <http://www.awaji.ac.jp/>

兵庫県が阪神・淡路大震災の復興事業のひとつとして、1999年に設立したこれまでにない新しいスタイルを持った学校。阪神・淡路大震災の教訓として得た「人と自然の共生する社会の実現」を植物を通じて行う「景観園芸」の世界への発信とその担い手育成を行う機関として「専門職大学院課程」「園芸療法課程」「生涯学習課程」の三つの課程を擁し、造園・園芸に関する専門家、園芸療法の専門家の育成と市民ボランティアの育成をあわせて行っている。

キャンパスはそれ自体が一つの大きな庭園となっており、実習フィールドとなるだけでなく、多くの一般庭園見学者の自由な見学を受け入れている。

